

(2) 施策の方針

第3章 都市環境を保全・創造するまち

分野(3) 生活環境

施策の方針④ 次代に向けたエネルギー・環境対策の推進

<目標とすべきまちの姿>

省エネルギーの推進と再生可能エネルギー等導入に向けた理解が広まり、市民力、地域力を発揮した取組が進展し、歴史と環境が調和した循環型社会システムが構築されています。
本市の住宅、事業所、公共施設では、太陽光、太陽熱、燃料電池などの再生可能エネルギー等の普及が進んでいます。

1 事業評価結果一覧表

環境部

評価対象事業名		決算値 (千円)	総事業費 (千円)	26年度 職員数 (人)	今後の方向性	
整理番号	事業名				事業内容	予算規模
環境-02	環境基本計画推進事業	4,922	23,794	2.5	a	A
環境-03	エネルギー計画推進事業	19,018	34,115	2.0	d	A

2 平成26年度末の目標

環境部

鎌倉市環境基本計画の平成27年度改訂に向けて、資料収集や調査を行うとともに、本市環境マネジメントや地球温暖化対策のあり方について検討する。また、「鎌倉市省エネルギーの推進及び再生可能エネルギー導入の促進に関する条例」に基づき、平成26年度中に「鎌倉市エネルギー実施計画」を策定する。県のグリーンニューディール基金の補助対象事業に選定されたことにより、平成26年度中に玉縄行政センターに太陽光発電設備等の設置工事を実施する。

3 平成26年度の取組の評価

環境部

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善

鎌倉市環境基本計画及び鎌倉市地球温暖化対策地域推進計画・鎌倉市環境教育推進計画の改訂に向けて、調査を行うとともに鎌倉市環境審議会委員の意見や指導を受けた。本市環境マネジメントの手法については大幅な見直しを図った。また、「鎌倉市エネルギー実施計画」を平成27年3月に策定し、関係者等に配布するほか、県のグリーンニューディール基金の補助事業を活用し、玉縄行政センターへの太陽光発電設備等の設置等、省エネルギーの推進と再生可能エネルギー等導入に向け、着実に進めてきた。

4 今後の方向性

環境部

エネルギー計画推進事業を環境基本計画推進事業に統合し、事業執行の効率化を図る。また、県のグリーンニューディール基金の補助対象事業として平成28年度に笛田公園管理棟への太陽光発電設備等の設置を予定しているため、当該工事費の予算計上が必要となる。

5 平成27年度末の目標

環境部

鎌倉市環境基本計画及び鎌倉市地球温暖化対策地域推進計画・鎌倉市環境教育推進計画の改訂を行うとともに、本市環境マネジメントの新たな手法の定着を図る。また、「鎌倉市エネルギー実施計画」に基づく市のエネルギー施策の進捗状況を把握・検証し、その結果を年次報告書としてまとめ、エネルギー施策の進行管理を行い、より充実した施策の展開へとつなげる。

鎌倉市民評価委員会の評価

1 評価できるところ

- ・重点事業である「エネルギー実施計画」を策定した。
- ・玉縄行政センターに、太陽光発電設備を設置した。
- ・地域における地球温暖化対策・環境保全施策の推進のための施策を行い、NPO法人との協働の取り組みを行った。

2 課題・提言

- ・環境教育の推進とあるが、市民、事業者、観光客、行政が個々にわかりやすい内容の普及・啓発を行ってほしい。
- ・28年度には笛田公園管理棟への太陽光発電設備設置を予定しているが、玉縄行政センターの省エネルギー数値がどれ程なのか経過を公表してほしい。
- ・太陽光発電にかかる設置の工事費、経年の維持費試算等も公表してほしい。